

寺報

善巧

発行
938-0862 富山県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

ご講師

高務哲量師

一六日	御正忌	一三日
一一時	下村お講	一四日
十一時	一時 お速夜	一五日
七時	七時 お初夜	十一時
一時	浦山・柄屋・ 熊野・大橋お講	一時 お速夜

一二日	栗虫報恩講	一三日
日校成人式	日校かるた会	一日
御正忌準備	修正会	一日

寺
ごよみ

一月



講題

御正忌

高務哲量師

一月十三～十六日
「大悲無倦」

学校の給食で食前にす
る合掌が宗教的行為とみ
なされ、ドラやカネを鳴
らしてハイどうぞという
話を聞いたのは二十年前。
「いただきます」は、食
べ物に対する感謝をあら
わします。いのちを頂き
ますということでしょう。

そういう感謝の気持ちは
もういらないのでしょうか。
お金さえ払えばす
べて我が物でしょうか。
ひと昔前は宗教教育
は家庭で育まれたもの
でしたが、今はその家
庭のあり方が大きく変
わりました。核家族が
当たり前になり、加速
する時代のスピードか
ら世代間の価値観もひ
ろがり、すでに上の世
代の言うことを聞く耳
がなくなりつつあるよう
に感じます。

すべて科学とお金だけ
の価値観になつた時、人
すらもお金で換算され、
誰もがいつか捨てられて
いく人生になります。そ
こにいのちの触れ合いは
一切ありません。目の前
のことをがむしやらにや
れる時期はそれですむか

手を合わす

もしれませんが、自分自
身がいつか捨てられてい
くという想像力が決定的
に欠けています。だいた
いに、インターネットや
テレビでひろえる情報や
知識だけならば、早い子
では中学生ぐらいで親を
越します。

今私たちは、子や孫に
何を伝えられるのでしょうか。
流れゆく情報や
お金よりも大切なこと
とはなんでしょうか。
それは、まず自分自身
が何を抛り所にして生
きるかという問題にも
なるでしょう。

お寺の行事にご参加
ください。毎月二回の
お講、年中行事に是非
お参りください。また、はじめての方でも
お参りやすいような夜の
法座を春からスタートし
ます。来易い環境作りに
努めます。

平成二十三年の親鸞聖
人七百五十回大遠忌をひ
とつの山場と見据え、止
まるところなく邁進してい
く所存です。

雪山 俊隆
善巧寺住職

妙好人のことば

山本撰叢書



り。ただ眞実心を至誠心と善導はおほせられたる也。

今年は大変暖かい秋でございました。善巧寺様だけにしかない空華忌の御法座でございます。この頃、私が痛感しておりますところを、少しお話しさせて頂こうと思つてゐるわけでございます。ちょうど、戦争が終わり

ました。この頃は、分家という言葉が半分死語になつたようです。子供達が独立して生活をするのは当たり前の時代です。ことさらに分家をするということを言わなくともいいような感覚が強くなつてまいりました。昔は分

まづ至誠心といふは大師釈しての給はく、「至といふは真也、誠といふは実也」といへり。ただ眞實心を至誠心と善導はおほせられたる也。

まして六十年という年月が経ちました。その間に日本の社会構造の基盤であります家庭というものが根本的に変わってきたように思います。それは政府としては家督の相続という制度が廃止されました。したがって長男が

は大変大きな問題であつたわけです。ある地方では分家の第一代目になることを「先祖になる」と言つたそうです。つまり新しい家を興して、その新しい家の第一代になるんですから「先祖になる」わけです。そういう言葉

という考え方が随分と感
んになつてまいりました。
個人の信仰の自由という
ものが保障されています
から家の単位の宗教より
も、個人単位ということ
がなければ信仰というも
のも成り立たないという
考え方が大変強調されて
まいりました。

うところのお寺の御住職は「うちのお寺まで歩いて行くことができる檀家さんは三軒しかありません。後は全部、郊外の遠い所に転居していかれました。」と言われます。そうするとご命日やご法事のお参りがどんどん大変になつてくるんです。一軒お参りに行くのに片道一時間も二時間もかかるのが当たり前になつてくるわけです。

家庭にお仏壇というものがあって、そのお仏壇を家庭の中心とし、家庭を相続するものが、そのお仏壇をお守りさせて頂く。そういう制度でもって日本のお仏壇といふものは、はづつと何百年来、當まれてきただんたうんです。ところが、これからのお仏壇といふのは、一人ひとりの信仰でなければならぬ

かと言いますと、私は日本の宗教というものは、善かれ、悪しかれ、家と、いうものを中心として、曾まれてきた宗教であつたと思うのでござります。

て、檀家の方がおられた
という地域の構造が崩れ
ていってしまったんです。
とくに高度成長期からバ
ブルの頃に向かつて土地
がどんどん高くなつてしま
りまして、そこに住ま
いが出来なくなつてしま
い、郊外へと出ていかれ
るわけです。心斎橋とい

な大変さがあるようです。戦災にあいまして、大阪の都心部のお寺も含めて、家々が焼け野原になつてしましました。その後、徐々に復興していくんですけれども、お寺があつた場所を中心とし、そし

それまでお寺や信仰を伝えてきた一番基本の家族というものが変わつてしまたというふうに見ることができると思うんです。

今回私は端的に申しますとして、浄土真宗の信心というのはどういうふうに味わうべきだろうかといふことを申し上げたいと

くるわけです。
なぜこんなことを申し上げたかと言いますと、日本の社会構造の一番基本である家族という問題が本当に変わってしまったということなんです。それが善かれ、悪しかれ、

思つております。家族といふものの姿、そして家族といふものを通して信仰というものがどのようになつてきただのかと、いうことを、少し具体的にお話ししさせて頂こうと思つてゐるわけでござい

せてもらうんです。

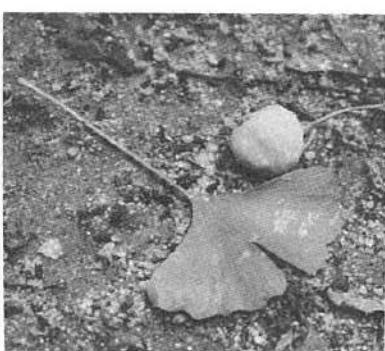
にやつと親鸞聖人のお話
が出てまいりました。う
ちは浄土真宗のお寺で、
ざいます。浄土宗に転派
する気はございません。
当然、浄土真宗でいきま
すので誤解をなさらない
でください。」とおっしゃ
るんです。なかなか難し

にやつと親鸞聖人のお話を専門に学ぶものにとつて、最も大きな視線が抜けているんじゃないかと思うのでございます。ご承知のように親鸞聖人は最晩年まで法然聖人のことをずつと慕い続けておられます。法然聖人の「義なきを義とす」ということばも使っておられます。

「義なきを義とす」といふのは端的に申しましたら、「なにもはからわぬい、あれ、これつけ加えをしない」というのが教えであるよ」というほどの意味でしよう。一切、自力のはからいというものを加えたらいけないといふのが法然聖人のことばでしたよということを、親鸞聖人は度々おっしゃっています。法然聖人のおことばを私はお聞きして、このおことばによつてずつと私は歩んでまいりました。他の方のことばは一切私には必要ありません。今まで言い切つていかれたるうとと思うんです。

では、淨土真宗の寺でござります。淨土宗に転派する気はございません。当然、淨土真宗でいきましたので誤解をなさらないでください」とおっしゃるんです。なかなか難しいものだなあとthoughtした。皆様のうえにも、多少あると思うんです。中学生くらいの歴史の教科書で言いますと、淨土宗は法然聖人、淨土真宗は親鸞聖人と書いてあります。そうしますと法然聖人は淨土宗、親鸞聖人は淨土真宗だという通念が知らないうちについてしまうんです。それで法然聖人のお話をすれば、淨土宗のお話になり、親鸞聖人のお話をすれば、はじめて淨土真宗になると、いう先入観が知らず知らずのうちに私どものうえに出来上がつてきたんだろうと思うんです。

の教えということをいかに自分が味わっているか
ということは、親鸞聖人の御一生であつたはずで
す。そういうことは浄土真宗を専門に学ぶものも
よく言うのですが、いざ教義となれば法然聖人の
ことばが抜けてしまう。
おそらく宗派としての浄土宗、宗派としての浄
土宗と、宗派としての浄土真宗というのが別々に成
立し、その違いといふところを見ていくことばか
りに目がいつてしまつて、親鸞聖人が法然聖人のど
ういうことばを受けて生涯、味わいを語つていか
れたかという視点が欠落してしまつたんだろうと思
うのでございます。



報恩講

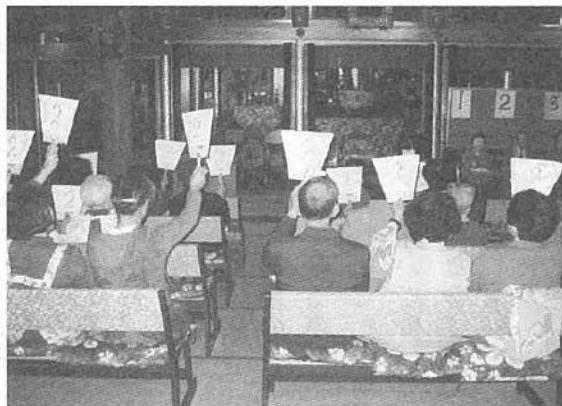
十月十九・二十日

親鸞聖人のお徳を偲ぶ
報恩講は例年通り十月十九、二十日の二日間勤まりました。ご講師は若栗の発願寺住職・行信教校出身の川崎順正師。二日間四座お取次ぎくださいました。



夜のお座では修復され
たご絵伝（親鸞聖人の生
涯を絵で表現されたお軸）
の前で、「絵解き説法」
をして頂きました。これ
は恒例になる予定なので、
次回になる予定なので、
次回は是非ご参加
ください。また、
永代経に続いてお
寺座クイズが行われ
て楽しみました。

教化部長鬼原六義
さんの司会で仏婦
三会長・中林昌子
・藤沢久美子・久
田英子さんのが
た。



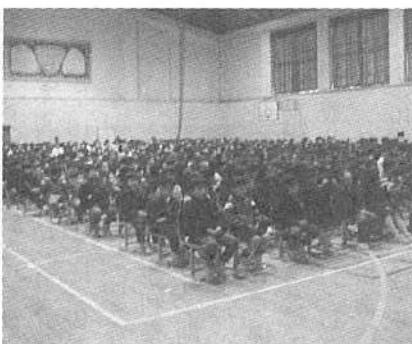
今回は総代さん
から岡田実さん・
野畠市郎さん・
佐々木勝武さん
が出演しました。
浦山新「あら
せ野どでカボチャ
会」提供の巨大
カボチャ重量当
てクイズや、橘
照子ちぎり絵教
室の皆さんによ
るちぎり絵展も
恒例となりまし
た。





明教院僧鎧様の二百三回忌法要『空華忌』は例年通り十一月四日・五日と當されました。ご講師に大阪定専坊住職・行信教校講師の山本撰叡先生にお越し頂きました。

この法要はひたすらお聴聞のみを目的としています。「妙好人のことば」という講題で、山本先生の体験を通した温かく厳しいご法話にお同行はいたく感動し、喜ばせて頂きました。



雪ん子劇団の昨年の外部公演はこの一回でした。が、創立五十周年の記念大会に招待していただき三百七十六名の児童とPTAのみなさんに観劇してもらつて大変実のある良い公演になりました。

寒くなつてお天気が心配されましたが、さいわい朝から快晴。総代、世話方、仏婦のみなさん二十数名が集つてくださいました。おかげで境内や裏庭・中庭など全てきれいになつて安心して冬を越せるようになりました。

一週間後の十一日から思ひがけない雪になり、ほつとしています。毎回みなさんのおかげでお寺が守られています。ありがとうございます。ありがとうございました。

次男教隆教師習礼

十二月十日

何かと住職の相談役をしてくれている副住職ですが、現在行信教校に席をおいて学んでいます。この度、習礼をうけてご門主様から教師を拝受し、阿弥陀様と父のご影に奉告しました。



宇奈月黒部地区の浄土真宗寺院の集まり「黒西組」の参拝旅行で、大雪の中、八時間かけて本山へお参拝に参加しました。写真は善巧寺参加者です。みなさん大変喜んでおられました。



富山県生き生き長寿財團では、九月二十八日『宇奈月善巧寺のつどい』を開催され、三十六名の方が午前十時半から午後三時まで一日お寺体験をされました。男性は境内の掃除、女性はお斎の準備や屋内清掃などしてくれました。

雪ん子劇団 魚津本江小学校公演

十一月二十六日

清掃奉仕
十二月四日

十二月十九・二十日

念佛奉仕団

富山県いきいき長寿財團一日体験
九月二十八日

九月二十九・三十日

九月二十八日



雅楽隊を先導におねり



お寺で出会い結ばれるというのはとても喜ばしいことです。お寺を葬式や法事のイメージだけで捉えている人もまだまだ多いようですが、本来は誕生日や葬儀も、人生の節目は同じ対象のもとで行うのが理想的です。他国と比較すると日本はそのへんが特異な国ですが、最近の若者はそこに少し疑問を持ち始めたようです。

「神道もキリスト教も仏教もよく知らないのに、そこで誓う意味ってあるの？」と。それならいつ

しかし、もう一步考えてみて欲しいです。佛教では、人間の心は頼りにならないと

そ、人の前で誓えばいいと人前結婚式が出てきました。葬儀や法事も、そのうち「お別れ会」や「偲ぶ会」でいいじやない、となるのでしょうか。

結婚のご予定がある家は、是非一度若い方たちに紹介してあげてください。せめて選択肢のひとつに入れてもらいたいと切に願います。ご相談はいつでもお寺までどうぞ。

わらない仏の前で誓うことがあります。披露宴会場などの備え付け式場のほうがはるかに効率もよく、流れもいいことはよくわかりますが、一生に一度のことです。



り続ける者が、変わらない仏の前で誓うことがあります。披露宴会場などの備え付け式場のほうがはるかに効率もよく、流れもいいことはよくわかりますが、一生に一度のことです。

佛前結婚式も出来ることをどうぞお忘れなく。



六日
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一

寺
こよみ

浦山報恩講
三月

二〇日
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七
二八
二九
三十
三一

熊野報恩講
桔屋報恩講
入善報恩講
下立報恩講
歎異抄講座

一日
二月
浦山お講
三日市報恩講
生地荻生報恩講
舟見報恩講
下立お講
歎異抄講座

寺
こよみ

黒西組仏婦総会
前坊守祥月命日
桔沢お講
歎異抄講座
雪ん子劇団春公演

御正忌

親鸞聖人のご命日に行
われる厳謹な法要

日曜学校
かるた大会
一月三日午前十時

三月二十六日
卒業公演
雪ん子劇団

合掌

歎異抄講座

仏教書の世界的ロングセラー歎異抄の講座

時間：午後七時半～
日程：二月十七日、三月十七日、四月十七日
場所：門徒会館二階
会費：千円
講師：高務哲量師（福井）

大らうそくなどのお供養代として五百円のご協力をお願ひいたします。
お世話方が集められる地域もあります。

【大悲無倦】

高務哲量師（福井）

一月十三日	午後一時	お逮夜
十四日	午後一時	お逮夜
十五日	午前十一時	お講
十六日	午後一時	お逮夜
	午後七時	お初夜
	午後一時	ご満座

日校成人式
一月八日午後一時



御正忌準備
一月十二日午前八時半



Zengyou.Net

善巧寺情報発信処 <http://www.zengyou.net>

お寺のホームページご覧になりましたか？毎日300人前後の方にご覧頂いています。音声法話は登録者が1,000人ほど！
どうぞ、特にお寺と縁の薄い若い方へ教えてあげてください。
アドレスは<http://www.zengyou.net>

か。
私たちにはこの子供たち
にどんな世の中を渡していくのでしょうか。十八
世紀の思想家ルソーは「子供を不幸にする一番
確実な方法はいつでも何でも手に入れられるよう
にすること」と言っています。現代の我々には身
につまされる言葉です。
する方法は何
なのでしょう
か。
子供を幸せに

大雪に見舞われました。
皆様の所ではいかがでしたでしょうか。「昔はこんな雪当たり前やつたけどねえ」と九十一歳のおばあちゃん。「もう雪はいません。こりగりです」とお父さん。自然に対する受けとり方が違います。雪ん子たちはどんなに吹雪っていても境内に飛び出しています。雪と戯れています。羨ましいパワーです。

